

令和6年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
101	川崎市立 千代ヶ丘 小学校	柴田 雅之

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<p>◎深く考える子</p> <p>◎思いやりのある子</p> <p>◎たくましい子</p> <p>【千代っ子みんなの目標】 大好き千代ヶ丘 自分から〇〇のために やってみよう!</p> <p>〈めざす学校像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの中で自らの成長を実感できる学校 ・人とのかかわりの中で心を育む学校 ・心身の成長とともに健康・安全を大切にしている学校 ・地域・保護者とのつながりで子どもを育てる学校 	<p>○確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、自ら考える子 ・学び合い、高め合う子 <p>○豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考える子 ・お互いのよさを認め合う子 <p>○健やかな心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心も体も大切にしている子 ・安心・安全に生活している子 <p>○地域に開かれた魅力ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とともに育つ子 	<p>◇「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>◇カリキュラム・マネジメントの推進</p> <p>◇個別最適な学びと協働的な学びの実現</p> <p>◇合理的配慮・特別支援教育の充実</p> <p>◇校内・校外における研修の充実</p> <p>◇GIGAスクール構想の推進</p> <p>◆温かい関係づくりによる自己肯定感の向上</p> <p>◆キャリア在り方生き方教育の効果的な実践</p> <p>◆いじめ防止対策の推進</p> <p>◆行事・特別活動の充実</p> <p>◆道徳教育の効果的な実践</p> <p>◆人権尊重教育の効果的な実践</p> <p>◆共生＊共育の効果的な実践</p> <p>◆音楽活動・読書活動の充実</p> <p>◇支援教育コーディネーターを中心とした児童支援の充実</p> <p>◇様々な感染症への対応</p> <p>◇熱中症対策の徹底</p> <p>◇日常的な健康・安全教育の推進</p> <p>◇体づくり・体力向上につながる取組の充実</p> <p>◇チャレンジ精神と粘り強さを育む取組の充実</p> <p>◇危機管理体制の整備</p> <p>◆地域・保護者との連携・情報交換</p> <p>◆地域の人材・環境を生かした活動の再開・継続</p> <p>◆地域・保護者への情報公開・情報発信</p> <p>◆地域社会における役割を自覚</p> <p>◆50周年記念事業の推進</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	<p>○確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、自ら考える子 ・学び合い、高め合う子 	<p>◇「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してきました。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」という3つの資質・能力をバランスよく育成することをめざしてきました。意欲的に学ぶ姿や学び合う姿が見られました。さらに教師の授業力が求められます。</p> <p>◇カリキュラム・マネジメントの推進</p> <p>より効果的に教育活動を行うためにカリキュラムを工夫改善してきました。特に今年度は創立50周年とつながる行事を組み入れる中で、子ども同士のかかわり、地域の人とのかかわりなどをとり入れた充実した活動を実施することができました。モジュールの使い方の充実を図りたいです。</p> <p>◇個別最適な学びと協働的な学びの実現</p> <p>個への対応に力を入れるときと協働的な学びを行うときなど、単元計画の中で、また、1時間1時間の中でどのように授業を進めていくのかを考え、効果的な授業設計を工夫してきました。教師の引き出しをさらに増やすことが求められます。</p> <p>◇合理的配慮・特別支援教育の充実</p> <p>支援教育コーディネーターを中心に、一人一人の教育的ニーズに対応できるよう、困り感を見とり、対応していくよう努めました。取り出しや入り込みなどによる個別対応の充実も進めました。ユニバーサルデザインの環境づくりなども意識してきました。人的資源に左右されることが課題となっています。</p> <p>◇校内・校外における研修の充実</p> <p>校内・校外における研究・研修の機会を大切にしました。学校として教職員同士の学び合いの雰囲気の高まりが感じられました。今年度から始めた「ちょこっと研修」は学び合いの場として有効でした。時間の有効活用が課題です。</p> <p>◇GIGAスクール構想の推進</p> <p>教員が積極的に端末を使って授業改善に取り組む姿が見られました。子どもたちも端末の活用に慣れてきていることが感じられます。どのようなときに、どのように使うか見極めていく必要があります。</p>	<p>本校児童の学習におけるよさと課題を把握し、学習指導要領の内容理解をもとに、学校全体として学び合い、高め合う体制をつくっていきます。教師の授業力向上から、児童の充実した学習につなげていきます。</p> <p>年間のカリキュラムを見直しをもって進めていくために、長期的・短期的計画を立て、学校・学年で共有し、充実した教育活動を行っていきます。</p> <p>一人一人に応じた柔軟な指導を行っていくことと、GIGA端末の活用やグループ活動を通して協働的に学んでいくことを、授業の場面に応じて計画的・積極的にとり入れることができるようにしていきます。</p> <p>校内における人材を有効に活用し、児童一人一人の困り感に対応するとともに、すべての児童にとって安心することができる環境づくりをめざしていきます。</p> <p>職員の働き方改革についても念頭に置きつつ、研究や研修の時間の確保を図り、共に学び合い、高め合う体制づくりに取り組みます。時間を有効活用し、「ちょこっと研修」を学び合いの場としてさらに充実させていきます。</p> <p>GIGAスクール構想をさらに進めるために、様々な活用の仕方を情報共有し、教員一人一人が授業に積極的に取り入れていきます。</p>

2	<p>○豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを考える子 お互いのよさを認め合う子 	<p>◆温かい関係づくりによる自己肯定感の向上</p> <p>◆キャリア在り方生き方教育の効果的な実践</p> <p>◆いじめ防止対策の推進</p> <p>◆行事・特別活動の充実</p> <p>◆道徳教育の効果的な実践</p> <p>◆人権尊重教育の効果的な実践</p> <p>◆共生*共育の効果的な実践</p> <p>◆音楽活動・読書活動の充実</p>	<p>子ども同士による、温かい言葉のやり取りや、教員による価値づけなどにより、よいところを積極的に認めていく学校の雰囲気大切にできました。それが自己肯定感の向上や他者意識を高めることにつながったと思います。異学年交流であるフレンドリー活動の時間の時間の取り方に課題がありました。</p> <p>キャリア在り方生き方教育においては、かかわる力・自分を見つめる力を養うことを目標に、キャリア在り方生き方ノートやキャリアパスポートを活用しながら取り組んできました。また、今年度は、創立50周年・市制100周年をお祝いする中でたしたちのまち川崎(千代ヶ丘)という郷土を愛する気持ちを育むことができました。</p> <p>定期的に生活アンケートをとったり、児童の言動をきめ細かく見たりしていくことで、いじめの未然防止に努めました。心配なことがあれば、教員間で情報共有し、学校全体で対応してきました。見落とすことがないように、さらに丁寧な対応をしていく必要があります。</p> <p>行事や特別活動においては、児童の主体的な活動になるよう、その取組を教員が支えていきました。とくに創立50周年にかかわる行事は、子どもたち中心で進めることができ、達成感・満足感を味わうことができました。日程的に厳しいところがありました。</p> <p>「特別の教科 道徳」となり、考え議論する道徳に取り組んできました。道徳科で学んだことを日常生活の中の道徳教育に生かしてきました。にじふじ道徳や授業公開で保護者とも道徳の学びを共有しました。にじふじ道徳の意義を再検討する必要があります。</p> <p>いじめや差別を許さない心や多様性を認める心を育ててきました。そして、一人一人を大切にすることを通して人権尊重の精神を養ってきました。「一人一人を大切にする週間」を年2回設定し、具体的な言葉や態度について考えさせました。</p> <p>共生共育においては、効果測定を行い、結果を見取り、クラス経営に役立てました。</p> <p>歌うことや演奏すること、本を読むことが好きな児童が多く、スクールバンドやスクールコーラス、読み聞かせなどの活動を充実させてきました。ぐるぐる先生による読み聞かせも子どもたちの楽しみになっていました。</p>	<p>これからも、学校全体であいさつや言葉遣いを大切にしていきたいと思います。よいところを認め合える雰囲気を学校全体に広めていきたいです。フレンドリー活動の時間の取り方と内容を検討し、改善します。</p> <p>これからも、学校だけでなく、地域や家庭と連携しながら「自分を作る」「みんな一緒に生きている」「わたしたちのまち川崎(千代ヶ丘)」の3つの視点でキャリア在り方生き方教育を進めていきたいです。教師が、どのような場面でどのような指導をするかをさらに考えていきます。</p> <p>いじめにつながることにに対しては、職員みんなで敏感に察知していくよう努めます。アンケートなどの情報収集や、気になることなどの情報共有に努めていきます。</p> <p>クラブ活動や委員会活動、学校行事において、子どもの主体性を尊重し、その活動を支えていきます。一つ一つの活動が次の一歩につながるようになっていきたいです。準備の期間も見越して充実した活動になるようにしていきます。</p> <p>学校教育全体における道徳教育を計画的に進めていきます。その核として「特別の教科 道徳」の学習の充実を図り、心の成長につなげていきたいです。そして、道徳の授業公開を通して、道徳での学びを保護者とも共有し、児童の心の成長につなげていきたいです。</p> <p>違いを認め、お互いを尊重し合える学校・学年・学級づくりをしていきたいです。そのために、定期的に人権尊重教育を行っていきます。とくに言葉の大切さを意識付けていきたいです。</p> <p>共生共育を通して、集団の人間関係や一人一人の気持ちを理解することに努め、学級経営に生かしていきたいです。</p> <p>スクールバンドやスクールコーラスの活動を、職員の働き方の工夫の上で充実したものにしていきたいです。教室や図書室における読み聞かせの充実を通して読書が好きな児童を増やしていきたいです。</p>
3	<p>○健やかな心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 心も体も大切にする子 安心・安全に生活する子 	<p>◇支援教育コーディネーターを中心とした児童支援の充実</p> <p>◇様々な感染症への対応</p> <p>◇熱中症対策の徹底</p> <p>◇日常的な健康・安全教育の推進</p> <p>◇体づくり・体力向上につながる取組の充実</p>	<p>児童や保護者の悩みや不安への窓口として、支援教育コーディネーターの周知に努めました。そして、問題や課題に対して学校全体で対応することができました。外部機関とも連携してきました。</p> <p>今年度は大規模な感染症の流行はありませんでした。しかし、1年間を通して季節に関係なく様々な感染症が見られたため、手洗い・換気などの予防に努めてきました。</p> <p>水筒を持参するなど安心して水分補給ができるようにしました。熱中症指数計測器を利用し、活動前の判断基準とし、熱中症予防を行ってきました。</p> <p>養護教諭を中心に児童の心身の健康を保つために日常的な指導を行ってきました。何かあった時の校内の連携体制も整えました。避難訓練は、計画的に様々な状況を想定して行ってきました。自分の命も周りの人の命も守るための行動を意識させてきました。</p> <p>体育の学習やキラキラタイム、休み時間の外遊びの充実により、体力向上に努めました。学校栄養職員と連携した食育も効果的でした。</p>	<p>支援教育コーディネーターの存在やその役割を児童や保護者にさらに周知していき、児童支援・特別支援の体制をしっかりと構築していきたいです。</p> <p>今後も、感染症の流行は予想されるので、日常の手洗いや換気などの指導をしっかりと行い、その状況に応じて感染拡大を防ぐために臨機応変に対応していきます。</p> <p>児童・職員ともに熱中症への意識を高め、熱中症指数計測器を利用し、明確な基準を示すとともに、児童の様子をていねいに見とることで予防に努めていきます。水筒の持参も継続します。</p> <p>児童の健康・安全を第一に考え、予防のための指導を日常的に行い、何かあった時の校内体制をさらに整えていきます。養護教諭による授業や避難訓練などを計画的に行っていきます。</p> <p>児童の主体的な活動によって、体力向上に向けた運動に親しむ取組がより活性化するような工夫を積極的に行っていきます。校庭開放プロジェクトも子ども達の外遊びの機会となればと思っています。学校栄養士と連携した食育も継続していきます。</p>

		<p>◇チャレンジ精神と粘り強さを育む 取組の充実</p> <p>◇危機管理体制の整備</p>	<p>本校児童の傾向として、言われたことは真面目にすることができるが、自分から「やってみよう」という気持ちが弱いことが課題となっていました。今年度は千代っ子みんなの目標を掲げたことにより、50周年にかかわる行事をはじめ、さまざまな機会にチャレンジし、頑張る姿が見られました。</p> <p>校舎の老朽化が目立つため、施設・設備の点検・修繕に努めました。危機管理マニュアルに基づいて校内体制の確立に努めました。未然防止・早期発見・初期対応を確実に行ってきました。</p>	<p>行事や特別活動を中心に、日常生活や学習の中で自らの意思でチャレンジする気持ちを育てていきたいと思っています。そのために「やってみよう」と思った児童に対して、教員の丁寧な支援を心がけていきます。</p> <p>児童の安全に関わることは、気が付いたことがあればすぐに対応していきます。危機管理マニュアルを見直し、未然防止・早期発見・初期対応を確実に行っていくことができる体制をさらに整えていきます。</p>
4	<p>○地域に開かれた 魅力ある学校づくり</p>	<p>◆地域・保護者との連携・情報交換</p> <p>◆地域の人材・環境を 生かした活動の再構築</p> <p>◆地域・保護者への情報公開・情報発信</p> <p>◆地域社会における役割を自覚</p> <p>◆50周年記念事業の推進</p>	<p>50周年実行委員会や学校運営協議会、地域教育会議、千代小コミュニティ会議において、直接地域の方とお話しすることによって、学校との関係づくりを行ってきました。ご理解・ご協力をいただき、感謝しています。</p> <p>年度当初から、コロナ前に行っていた活動を含めて、地域学習の再構築を行ってきました。直接地域の人から学ぶ機会を大切にしてきました。また、保護者を中心に多くの方に学校教育ボランティアとしてご協力いただき、感謝しています。</p> <p>学校だよりや学年だより、学校HPなどにより、情報公開を行ってきました。また、ミマモルメによる情報配信も行い、迅速に確実に連絡できる体制も作ってきました。学校ホームページは十分に改善できていないところがありました。</p> <p>学校は地域の様々な活動の拠点になっていることを自覚し、地域教育会議、避難所運営会議、施設開放、地域自治会夏祭りなどの役割を担ってきました。</p> <p>昨年度発足した実行委員会を定期的に開催してきました。その中で50周年記念事業における情報共有や内容確認を行ったうえで、活動を推進してきました。地域や保護者の方々にご協力をいただきながら、子ども中心の記念事業を行うことができました。</p>	<p>地域・保護者の方々のご協力に感謝し、今後も良好な関係を築いていくよう努めます。そのためにも、日ごろから挨拶をはじめ、感謝の気持ちを伝える機会を作るなど、積極的にコミュニケーションをとっていきましょう。地域行事などへの協力も可能な形で行っていきます。</p> <p>実際に地域に出て、地域に暮らす人たちの声を直接聞くことはとても有意義な活動だと考えています。また、学校に来ていただき、児童とコミュニケーションをとる中で学習に協力していただくことも大切なことだと考えています。カリキュラムの中に地域とのかかわりを効果的に位置付けていきます。</p> <p>今後も本校の教育活動をご理解いただくために、効果的な情報公開・情報発信の方法を検討していきたいです。紙媒体とネットの活用を考えていきます。とくに学校ホームページの整備をするとともに、持続可能な形を作っていくことを重点課題としていきます。</p> <p>今後も地域の方々の学校に対する期待にこたえられるように、誠実に地域の方々向き合っていきます。地域と共にそこに住む子ども達をしっかり育てていきたいと思っています。</p> <p>今年度、50周年記念事業の中で子どもたちに育んできた、郷土愛や愛校心を、これからも大切にしながら地域学習を進めていきます。また、実行委員の方々やPTAの皆様を中心とした地域・保護者との関係を大切にしていきます。</p>

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> 学校の雰囲気やゆったりしていて、あわただしくない。 教室の中が、子ども中心になっている。 先生と子どもが、楽しそうに授業をしている。 GIGA端末を使うときと、使わないときのけじめがついている。 情報モラルに関する教育は、昔はなかったが、今の時代にあっている。 外国語学習を小学生のうちからやるのはとてもよい。 図書室の読み聞かせはとても良い。 子どもたちが生き生きとしていて、明るい学校になっている。 きれいに掃除ができていたので、それを維持してほしい。 (50周年) 子どもが主役になっていた。 千代小のよさが出ていた。 子どもたちのエネルギーを感じた。 地域のことをよく調べて発表していた。 (給食を一緒に食べて) 今の給食は美味しい。 残さず、美味しく食べていた。 食品ロスをなくす意識ももっていた。 コロナの時と違って、やり取りをしながらたべるのはよい。 	<p>今年度は、何といても50周年という大きな節目の年であったということが、子どもたちの成長につながりました。昨年度から、本格的な準備が始まり、1年かけて50周年を盛り上げてきました。様々な活動において、一貫して、子どもたち中心ということを意識してきました。子どもたちが、自分たちの千代ヶ丘小学校に、そして、千代ヶ丘のまちに、愛着をもち、将来にわたって心に残るものを作り上げてほしいと思いつながりながら、職員一同子どもたちを支え、指導してきました。運動会や式典でのくす玉や、虹つばきちゃんやはなまるちゃん、式典での発表などが、きっと大切な思い出になることと思います。</p> <p>この周年行事を行う上で、土台としたのは、今年度掲げた「大好き千代ヶ丘 自分から〇〇のために やってみよう」という千代っ子みんなの目標です。昨年度の学校評価から、千代っ子は、言われたことは真面目にできるものの、自分からチャレンジする気持ちが少し弱いということが浮かび上がってきたために、50周年の様々な活動を行う上で、自分からやってみようという意識を育てたいと考えました。結果として、楽しみながら活動し、発表し、一人一人が輝く式典を作り上げることができました。子どもたちが楽しそうで、とても良かったと思っています。</p> <p>千代っ子みんなの目標を土台とした、50周年の取り組みが今年度の大きな柱となっていました。そのさらにもとになるのが、学校教育目標の「深く考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」です。そして、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな心身の育成」「地域に開かれた魅力ある学校づくり」の4つの柱をめざして様々な教育活動に取り組んできました。それぞれに成果が感じられる1年であったと思っています。</p> <p>来年度に向けては、学校評価をもとに、今年度以上に知・徳・体、頭と心と体のバランスの良い成長につながる教育活動を行っていきます。</p>